

- チーム医療「転倒転落対策チーム」
- 「心不全患者の生活行為パンフレット」のご案内
- 先進医療のご紹介
- 院内美容室リニューアルオープン!!
- マイナンバーカードの保険証利用について
- 竹内特任教授が、「令和4年度母子保健家族計画事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました
- 開学50周年「三方よし」未来募金へのご協力をお願い

チーム医療「転倒転落対策チーム」

リハビリテーション部

滋賀医科大学医学部附属病院では、様々な多職種専門チームが活動しています。その中で今回は、「転倒転落対策チーム」をご紹介します

転倒転落対策チームとは

二足歩行している以上、人に転倒はつきものです。そのためどうしても一定数の方は入院中に転倒されてしまいます。入院中の転倒転落は、どこの病院でも起こり得る事象ですが、それで、足の骨や背骨を折ったり、頭を打ったりすると、ご高齢であればそこから寝たきりになることもしばしばあります。



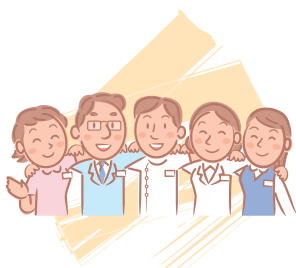
そこで、「転倒・転落事故防止」と「事故に伴う有害事象発生の予防」を目的として、「転倒転落対策チーム」を発足させました。院内で発生した転倒・転落症例を多職種で話し合い、効果的な再発予防策などを提案・実施するとともに、スタッフ教育に努めることが役割です。チームは医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士のメンバーで構成されており、それぞれの専門的知識を生かして転倒転落対策を行っています。

活動内容

当チームでは隔月で会議を行い、転倒転落の事例を分析し、その対策等を検討しています。予防には、転倒転落しやすい方を事前に把握することが重要です。当院では、当チームが主体となって「転倒転落アセスメントスコア」という評価表を各病棟で使用しています。これを用いて、患者さんの転倒転落リスクを総合的に評価してケアにあたっています。

転倒転落対策の具体例

- 履物や杖、歩行器などの適切な選択
- ベッドの高さや室内の動線などの環境整備
- 適切な薬物使用
- できる限り患者さんの歩行機能を落とさないようにリハビリを行う
- 不必要に入院期間が長くないようにする



転倒転落対策は、決して簡単なものではありません。チームだけでなく、各部門のスタッフの協力が不可欠です。そのため、各部署で勉強会を開催するなど、転倒転落予防に関する情報提供にも力を入れています。事前にリスクを把握の上、スタッフ一人一人がそれを意識し、少しでも転倒転落を減らせるように努力していきたいと思えます。

「心不全患者の生活行為パンフレット」のご案内

リハビリテーション部

当院とJCHO滋賀病院が共同して作成した『心不全患者の生活行為パンフレット』をご紹介します。

心不全患者の生活行為パンフレットとは??

過活動は心不全悪化の一因となりますが、逆に過度な安静は身体機能の低下やQOL（生活の質）の低下に繋がってしまいます。今回のパンフレットでは、日常生活でどのような動作が心臓の負担になりやすいか、心臓にやさしいエコな動き方や環境調整はどのようにしたらいいかなどを、写真やイラストを使って具体的にお示ししています。

必須スライド	基本動作	応用動作	余暇活動
<ul style="list-style-type: none"> 表紙 心不全症状 押さえてほしい3つの動作 6つのポイント 	<ul style="list-style-type: none"> 起き上がり 立ち上がり 脱鞋 トイレ 入浴 階段動作 	<ul style="list-style-type: none"> 履替 掃除 洗濯 調理 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物 散歩 読書
<ul style="list-style-type: none"> 一頁ダウンロード 	<ul style="list-style-type: none"> 二頁ダウンロード 	<ul style="list-style-type: none"> 三頁ダウンロード 	<ul style="list-style-type: none"> 四頁ダウンロード

ダウン
ロードは
コチラ

当院HP



当院もしくはJCHO滋賀病院のホームページに掲載しています。



こだわりポイント

患者さんの生活スタイル・自宅環境・希望する活動に合わせたテーラーメイドの（その人らしい）パンフレットとなっています。当院のリハビリスタッフや看護師等も、このパンフレットを日常生活の指導や助言に役立てています。

先進医療のご紹介

— ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断 (PCR法) —

眼科

令和4年8月から先進医療「ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断 (PCR法)」を実施しています。

ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患とは

ウイルスが原因で眼内に炎症を引き起こす疾患です。病状が時間単位で進行し数日で失明に至る場合もあります。ウイルスごとに治療が異なるため、正確かつ迅速な診断が必要です。



迅速診断 (PCR法) について

PCR法を用いた診断は以前から行われてきましたが、従来の方法では1回のPCR検査で1種類のウイルス判定しかできませんでした。本先進医療では、一度に複数のウイルスを調べることが可能です。

✓ 検査に必要な眼内液

従来法
1項目につき100 μ L

迅速診断(PCR法)

9項目につき20 μ L

✓ 結果判明までの時間

約1週間

最短40分

✓ 費用

先進医療部分は自己負担となり、**36,000円**を患者さんにご負担いただきます。

これにより、適切な治療を早期から開始することができ、失明予防に寄与できると考えています。

院内美容室リニューアルオープン!! 一般財団法人和仁会「美容室 ラルジュ」

令和4年11月29日、美容室としてリニューアルオープンいたしました。
美容室ですが、男女問わずご利用いただけます。
(カット・丸刈り・毛染め・パーマ)



※美容室ですので、お口まわりの髭剃りはできません。
あらかじめご了承ください。



営業日 火曜日・木曜日（祝日除く）
※お盆・正月休み変更あり

営業時間 10時～16時

▼事前のご予約もお受けします▼
TEL 077-548-9620 内線 2785
受付時間 平日 9時～17時

マイナンバーカードの保険証利用について

医療サービス課

マイナンバーカードはお持ちですか？

令和3年10月20日よりマイナンバーカードの保険証としての利用が開始となり、
当院でも、令和4年4月1日より顔認証付カードリーダーを病院1階にある2番
と9番のコンシェルジュ各窓口にて設置しています。

毎月1回の保険証の提示も、顔認証付カードリーダーにマイナンバーカードを
かざして操作していただければ、窓口での保険証提示は不要です。（※健康保険証
以外の証書は窓口でのご提示が必要です。）

初回の健康保険証利用の申し込みも設置のカードリーダーで行うことができ
ますので、ぜひご利用ください。



マイナンバーカードを保険証として利用するメリット

- 患者さんの同意があれば、薬剤情報や特定健診情報を診察の際に医師が閲覧でき、質の高い医療を受けることができます。
- 限度額適用認定証の手続きも設置のカードリーダーで行うことができますので、ご自身での手続きは不要です。



ご不明な点がございましたら、お気軽に病院職員にお尋ねください。また、詳細は
厚生労働省サイト「マイナンバーカードの保険証利用について」でも紹介していま
すのでご参照ください。（参考：https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html）



竹内特任教授が、「令和4年度母子保健家族計画事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました

小児科学講座（小児発達支援学部門）

令和4年10月27日(木)、28日(金)に島根県民会館で開催された「令和4年度健やか親子21全国大会」において、本学小児科学講座（小児発達支援学部門）竹内特任教授が、厚生労働大臣表彰候補者として推薦され、「令和4年度母子保健家族計画事業功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

本事業は、昭和41年から行っており、今回で56回目となります。母子保健事業又は家族計画事業の推進に資するため、本事業に長年従事し、著しい功績のあった個人及び団体に対し、厚生労働大臣表彰を行っています。



小児科学講座
（小児発達支援学部門）
竹内 義博 特任教授

竹内特任教授は、以下の実績等が評価され、表彰されました。

- ① 2001年に滋賀県に赴任後、県内小児医療体制とNICU（新生児集中治療管理室）の整備に取り組みました。
- ② 2002年に発達外来部門を開設し、以後20年間に亘り発達障害に積極的に取り組む小児科医の確保に尽力しました。
- ③ 関連施設やこども家庭相談センターで小児の診療にも携わり、地域の発達支援センター、障害福祉課、教育委員会等で医学的助言を行い、子どもの心身の健やかな発達・成長に貢献しました。

開学50周年「三方よし」未来募金にご支援・ご協力をお願いいたします

総務企画課

滋賀医科大学は、1974年に一県一医科大学の構想に基づき設立され、2024年に開学50周年を迎えることになりました。

これまでの半世紀、地域に支えられ、地域医療に貢献しながら、一步一步、あゆみを進めてまいりました。

開学50周年を節目として、今一度、本学の理念に込められた“想い”を胸に刻み、県民のみならずまに感謝し、本学をご支援くださるすべての方々のご期待に応え、「湖国に滋賀医大あり!」とさらに世界にアピールできるよう、より一層の飛躍を目指します。



開学50周年特設サイト

<https://50th.es.shiga-med.ac.jp/>



寄附についてのご案内

<https://50th.es.shiga-med.ac.jp/donate>



様々な記念事業を展開するにあたり、是非ともご支援・ご協力のほど、よろしく申し上げます。
記念事業の進捗などは、特設サイトで随時お知らせいたします。

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

滋賀医大病院ニュース第64号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL：077(548)2012(総務企画課)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。



●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・安心・満足を提供する病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- グローバルな視点を持ち、人間性豊かで優れた医療人を育成します
- 将来にわたって質の高い医療を提供するため、健全な病院経営を目指します